

2015（平成27）年度「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業評価等について

1 戦略における事業

「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、将来的な人口減少が避けられない中において、自主・自立したまちづくりを進めていくため、選ばれる魅力あるまちの構築に向けて策定した計画であり、153事業を位置付けている。

計画の初年度となる2015（平成27）年度については、総合戦略における事業148事業、具体的事業238事業を実施し、その評価等の概要は以下のとおりである。

2 評価の対象年度 2015（平成27）年度

3 事業の実施状況

基本目標	具体的施策	総合戦略における事業数		具体的事業数
		計画	実施	
Ⅰ 生き生きと働ける しごとを創る	(1)地域経済をけん引する産業競争力の強化	9	9	12
	(2)観光産業の振興、観光消費の拡大	17	17	30
	(3)多様な雇用の場の創出	13	13	18
	(4)女性や高齢者等の活躍支援	4	3	8
Ⅱ 新たなひとの流れを 生み出す	(1)水戸への移住・定住の推進	5	5	9
	(2)芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出	12	11	17
	(3)水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進	9	9	11
	(4)水と緑の潤いある拠点の形成	7	7	11
Ⅲ 水戸の未来をリード する若い世代の夢や 希望を応援する	(1)若い世代へのキャリア支援の推進	11	11	19
	(2)安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実	9	9	23
	(3)未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進	15	15	16
	(4)ワーク・ライフ・バランスの推進	3	3	9
Ⅳ 安全で安心、誰もが快 適に暮らせるまちを 創る	(1)都市機能の集積と交通ネットワークの形成	11	9	11
	(2)既存ストック（住宅等）の再生、利活用	5	5	10
	(3)住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進	15	14	23
	(4)危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進	5	5	6
	(5)自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上	3	3	5
	計	153	148	238

※複数の具体的施策で掲載された同一の事業（再掲の事業）についても、事業数としてカウントすることとする。

4 重要業績評価指標（KPI）の進捗

〈基本目標Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る〉

数値目標	(基準値)		(目標値)
○市内事業所数	14,357 事業所	→	14,550 事業所
○市民所得	999,984 百万円	→	1,080,000 百万円

具体的施策（1）地域経済をけん引する産業競争力の強化

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
マッチング会参加企業数（累計）	—	—	200社
商店街活性化事業に取り組む団体数（年間）	10団体	10団体	15団体

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> 産業交流機会の創出 技術力、競争力強化・支援 商店街活性化の推進 既存事業者の事業拡充等への支援 6次産業化の推進 農産物のブランド化の推進 地産地消の推進 優良農地の維持・保全 住宅リフォームの促進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術力、競争力強化・支援について、市内の工業振興に向けた事業において、新商品・新技術開発に取り組む企業への支援を行うなど、既存産業の機能強化と新産業の創出・育成に取り組み、成果を上げられたものと評価する。さらなる利用促進に向け、ニーズを捉えた支援メニューの見直しを検討する必要がある。 既存事業者の事業拡充等への支援について、企業立地補助制度及び課税免除の活用を促進するとともに、新たに企業誘致コーディネータを配置し、誘致活動を実施したことにより、新規の誘致・雇用の創出を図ることができ、成果を上げられたものと評価する。引き続き、課題として、誘致先となる一定規模の用地不足への対応を検討する必要がある。 6次産業化の推進について、水戸産梅のブランド化に向けて、梅果樹棚等の整備の促進に努めたが、新規の栽培農家の獲得が少なく、梅果樹棚等整備面積が年度目標に達しなかった。今後、農家への効果的な周知手法の検討が必要である。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> マッチング会参加企業数について、出来る限り早期の事業実施に向け、金融機関等との連携、参加企業の選定や効果的な開催規模等の整理をするなど、引き続き、制度設計の検討を進める必要がある。 商店街活性化事業に取り組む団体数について、にぎわいの創出及び商店街の活動支援により、基準値を維持できたものと評価する。より多くの団体が活動し、様々な事業が実施されるよう、継続的に促進していく必要がある。
<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数=9/9</p>	

具体的施策（２） 観光産業の振興，観光消費の拡大

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
梅まつり入込観光客数	522,800人	491,500人	650,000人
市内外国人宿泊者数（年間）	15,421人	21,298人	18,400人

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進 ・ 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進 ・ ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進 ・ 森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進 ・ まちなかイベントの開催 ・ 戦略的イベントの展開と各種まつりの充実 ・ 水戸の花絵巻事業の推進 ・ 回遊性を高める機能強化と魅力づくりの推進 ・ 広域連携による観光地づくりの推進 ・ 国際観光の推進 ・ 体験・交流型観光の充実 ・ コンベンション誘致活動の推進・強化 ・ 観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成 ・ 多様な情報発信の推進 ・ 戦略的な観光PR活動の推進 ・ フィルムコミッションの充実 ・ おもてなし力の向上 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 偕楽園・千波湖周辺及び弘道館・水戸城跡周辺，ロマンチックゾーンにおける魅力づくりについて，千波湖畔さくらのライトアップ事業や道路景観整備等を実施し，それぞれ進捗が図れたものと評価する。さらなる誘客に向け，引き続き，事業を推進していく必要がある。 ・ まちなかイベントの開催について，水戸まちなかフェスティバルにおける来場者数及びイベント数が，前年を上回るとともに，経済波及効果についても成果を上げられたものと評価する。今後，民間主導の事業運営を目指し，自主財源の確保に努める必要がある。 ・ 戦略的イベントの展開と各種まつりの充実について，新たなイベントとして，ラーメンまつりを開催し，約70,000人を誘客するなど，成果を上げられたものと評価する。今後，さらなる誘客に向け，捉えた課題の解消に努め，事業を推進していく必要がある。 ・ コンベンション誘致活動の推進・強化について，県内各種団体や東京への営業活動，コンベンション開催支援等を実施し，成果を上げられたものと評価する。引き続き，捉えた課題の改善に取り組みながら，コンベンション業務への体制づくりとともに，営業手法の多様化・重点化等を図る必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅まつり入込観光客数について，梅の開花状況が例年より早かったため，前年度と比較し，梅まつり期間中の入込観光客数が基準値を下回った。目標値の達成に向け，梅の開花状況等に左右されない魅力あるイベント等の展開が必要である。 ・ 市内外国人宿泊者数について，全国的なインバウンド観光の伸展の流れもあり，前年を大きく上回っている。さらなる誘客拡大を図るため，動画を活用した戦略的なプロモーション活動を展開するなど，より効果的な魅力発信を進めるとともに，受入体制の充実を図る必要がある。
<p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=17/17</p>	

具体的施策（3） 多様な雇用の場の創出

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
創業支援事業計画推進事業等による 新規創業件数（累計）	37件	96件	200件
企業誘致による立地事業所数（累計）	—	3事業所	25事業所

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業支援の充実 ・ 店舗開業・出店の推進 ・ 企業誘致の促進 ・ ベンチャービジネスの育成・支援 ・ 産学官連携による産業の活性化 ・ UJターン促進 ・ 地元企業の雇用の促進 ・ 遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進 ・ 認定農業者等担い手の確保・育成 ・ 医療福祉分野における人材の確保、雇用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 産婦人科等の医師の確保 ▶ 看護師の確保 ▶ 介護従事者の確保 ▶ 保育士の確保 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗開業・出店の推進について、空き店舗を活用した創業者支援として、6件の補助を実施し、成果を上げられたものと評価する。今後、当該補助金をさらに効果的なものとしていくため、あり方・運用について検討する必要がある。 ・ 産学官連携による産業の活性化について、新産業の創出・育成に向けたシンポジウムを開催し、未利用知的財産（特許）を活用しての新ビジネス創造に向けたスタートが切れたものと評価する。引き続き、企業に向けての未利用知的財産の情報提供とともに、産学官連携によるビジネスマッチング手法の検討が必要である。 ・ 遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進について、新たなビジネスを呼び込むため、リノベーションまちづくり塾（講演会）やリノベーションスクール@水戸を開催し、新事業の具現化に向けた検討が進められるなど、成果を上げられたものと評価する。引き続き、事業の実現に向けたフォローアップをしていく必要がある。 ・ 看護師の確保について、水戸市医師会看護専門学院への建設補助及び運営補助のほか、茨城県看護協会及びナースバンクと連携し、潜在看護師の復職支援に向けた情報提供等を実施し、成果を上げられたものと評価する。今後とも、継続的に看護師を確保していくため、本事業を継続していく必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業支援事業計画推進事業等による新規創業件数について、各種創業支援事業の実施により、創業者数が年間目標値を上回り、成果を上げられたものと評価する。あわせて、創業者の動向についてもフォローアップを行っていく必要がある。 ・ 企業誘致による立地事業所数について、3事業所の誘致を図ることにより、43人の新たな雇用が創出されたほか、新たな設備投資が図られ、成果を上げられたものと評価する。課題としては、誘致先となる一定規模の用地不足への対応策を検討する必要がある。
<p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=13/13</p>	

具体的施策（４） 女性や高齢者等の活躍支援

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
政策決定過程に参画する女性の割合 (審議会等女性委員割合)	31.2%	33.8%	35%
スキルアップセミナー参加者数(年間)	40人	39人	100人

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍推進に向けた環境づくり オープンデータ活用による女性の活躍の支援 中高年齢者、若年者及び女性等の雇用の促進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <p>・女性の活躍推進に向けた環境づくりについて、女性起業家及び起業に関心のある人との交流機会の創出により、起業をより身近に感じる機会として、成果を上げられたものと評価する。また、事業所トップ等に対して、女性活躍に向けた取組についての働きかけができたものと評価する。</p> <p>また、女性のキャリアアップ及び就業支援講座を開催するなど、意欲ある女性の支援に寄与できたものと評価する。</p> <p>女性活躍推進に積極的に取り組む事業所を表彰し、広く周知することにより、女性活躍推進への理解を深めるとともに、機運の醸成に寄与できたものと評価する。</p> <p>今後、様々な分野における女性の活躍推進に向け、各種事業の充実を図る必要がある。</p> <p>・中高年齢者、若年者及び女性等の雇用の促進について、シルバー人材センターの運営支援により、高齢者の就業機会の拡大を図り、高齢者の社会参加や生きがいづくりに寄与できたものと評価する。</p> <p>【KPIの評価】</p> <p>・政策決定過程に参加する女性の割合について、前年度値を上回っているものの、目標値の達成に向け、引き続き、積極的な登用に努める必要がある。</p> <p>・スキルアップセミナーの参加者数について、ほぼ前年度値を維持しているが、ニーズを捉えた内容の見直しを図りながら、さらなる参加を促進し、勤労者のスキルアップを促していく必要がある。</p>

【総合戦略における事業の実施割合】
 実施事業数/計画事業数=3/4

〈基本目標Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す〉

数値目標	(基準値)		(目標値)
○社会増（人口動態）	88人	→	600人
○観光交流人口	3,426,000人	→	4,090,000人

具体的施策（１） 水戸への移住・定住の推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
中心市街地（都市核）の居住人口	17,297人	17,128人	18,800人
まちなか住替え支援事業利用件数（累計）	—	—	280件

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか住替えの支援 ・住宅リフォームの促進（再掲） ・住生活支援情報の提供 ・民間住宅活用型市営住宅の供給 ・まちなか共同住宅の整備の促進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住生活支援情報の提供について、住生活関連の講演会やJTIマイホーム借上げ制度の周知等を実施したところであり、引き続き、制度の利用促進に向けた周知活動を推進していく必要がある。 ・民間住宅活用型市営住宅の供給、まちなか共同住宅の整備の促進について、制度設計を実施したが、引き続き、事業化に向けた費用対効果等の検討を行う必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の居住人口について、前年度より減少しており、さらなるまちなか居住の促進に資する事業の展開が必要である。 ・まちなか住替え支援事業利用件数について、平成28年度からの事業開始であり、今後、金融機関等との連携し、PRに努めながら、利用促進に向けた取組を進める必要がある。

【総合戦略における事業の実施割合】

実施事業数/計画事業数=5/5

具体的施策（２） 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
大規模スポーツ大会の開催数（年間）	9大会	10大会	13大会
コンベンション誘致・支援数（年間）	57件	78件	80件

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・市民主体の芸術文化活動の促進 ・水戸芸術館を中心としたまちなぎわいづくりの推進 ・水戸芸術館パートナーシップ制度の導入、推進 ・オセロの聖地・みと・発信プロジェクトの推進 ・水戸ならではのスポーツ大会の開催 ・水戸黄門漫遊マラソンの開催 ・第74回国民体育大会の開催に向けた取組の推進 ・コンベンション誘致活動の推進・強化 ・スポーツ施設・環境の充実 ・（仮称）東部公園の整備 ・新たな市民会館の整備 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=11/12</p> </div>	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民主体の芸術文化活動の促進について、水戸市芸術祭において、年度目標を上回る参加があり、市民への定着化が図られているものと評価する。 ・水戸芸術館を中心としたまちなぎわいづくり及びオセロの聖地・みと・発信プロジェクトについて、みと・HIKARI・プロジェクト、世界オセロ選手権大会の実施に向けた準備作業等の進捗が図れたところであり、本格的な事業展開に取り組むとともに、積極的な周知活動を展開する必要がある。 ・スポーツ施設・環境の充実について、市立競技場のトラック改修や総合運動公園体育館の大規模改修を進めるなど、年度計画のとおり、事業を実施できたものと評価する。 ・新たな市民会館の整備について、管理運営基本計画の検討を進めるに当たり、市民や各種団体との意見交換等を実施したことにより、市民や各種団体の意見を把握することができ、成果を上げられたものと評価する。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模スポーツ大会の開催数及びコンベンション誘致・支援数について、前年度を上回り、誘致活動の成果として評価する。引き続き、年度計画を実施する中で捉えた課題の改善に取り組みながら、コンベンション業務への体制づくりとともに、営業手法の多様化・重点化等を図る必要がある。

具体的施策（3） 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
偕楽園の年間入込観光客数（年間）	958,213人	996,439人	1,120,000人
弘道館の年間入込観光客数（年間）	58,886人	67,799人	110,000人

2015（平成27）年度の実施事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進（再掲） ・弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進（再掲） ・ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進（再掲） ・世界遺産登録に向けた取組の推進 ・魅力ある景観の形成 ・偕楽園公園（千波公園等）の整備 ・偕楽園周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等） ・弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等） ・ロマンチックゾーン（保和苑）の整備 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある景観の形成について、弘道館・水戸城跡周辺地区の状況調査、住民意向調査を実施し、地区の現況を把握できたものと評価する。調査結果を踏まえ、引き続き事業を継続する必要がある。 ・歴史・観光ロードの整備等について、偕楽園周辺地区や弘道館・水戸城跡周辺地区などの歴史風致維持地区において、概ね計画に沿った事業の進捗が図られ、街並み景観の形成に寄与できたものと評価する。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偕楽園及び弘道館の年間入込客数について、前年を上回ったことから、魅力づくりの様々な取組の効果があったものと評価する。引き続き、誘客拡大に向け、事業の進捗を図る必要がある。
<p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=9/9</p>	

具体的施策（４） 水と緑の潤いある拠点の形成

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
森林公園来園者数（年間）	160,000人	178,126人	208,000人
七ツ洞公園来園者数（年間）	59,345人	63,088人	81,000人

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進（再掲） ・七ツ洞公園の魅力づくり ・水戸の花絵巻事業の推進（再掲） ・魅力ある景観の形成（再掲） ・森林公園の整備 ・大塚池公園の整備 ・千波湖の水質浄化の推進 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=7/7</p> </div>	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進について、体験型事業や集客向上イベントを展開し、参加者増に寄与できたものと評価する。今後、それぞれの事業における課題等の改善に取り組みながら、さらなる参加促進を図る必要がある。 ・七ツ洞公園の魅力づくりについて、特徴を生かしたイベントの開催とあわせ、案内板の多言語化、駐車場不足の解消に取り組み、進捗が図れたものと評価する。しかしながら、一部事業を翌年度に繰り越しており、引き続き、事業の進捗に努めていく必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園及び七ツ洞公園の年間来園者数について、前年を上回ったことから、魅力づくりの様々な取組の効果があったものと評価する。引き続き、来園者拡大に向け、取組を推進する必要がある。

〈基本目標Ⅲ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する〉

数値目標	(基準値)		(目標値)
○合計特殊出生率	1.51	→	1.60
○保育所待機児童数	158人	→	待機児童ゼロ(2017年度)

具体的施策(1) 若い世代へのキャリア支援の推進

重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
UJIターン企業説明会参加企業数(年間)	—	—	50社
地元企業セミナー参加者数(年間)	—	—	200人

2015(平成27)年度の実施事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・UJIターンの促進(再掲) ・地元企業の雇用の促進(再掲) ・創業支援の充実(再掲) ・ベンチャービジネスの育成・支援(再掲) ・若年者及び女性等の雇用の促進(再掲) ・産学官連携による産業の活性化(再掲) ・女性の活躍推進に向けた環境づくり(再掲) ・認定農業者等担い手の確保・育成(再掲) ・ボランティア団体、NPO等の活動の活性化 ・困難を抱える若者への社会参加の促進 ・キャリア教育の推進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援の充実について、各種支援事業を実施し、創業者数が年間目標値を上回り、成果を上げられたものと評価する。あわせて、創業者の動向について、フォローアップを行っていく必要がある。 ・ベンチャービジネスの育成・支援について、創業者支援の拠点となるコワーキングスペースを設置し、セミナーを開催するなど、事業者間の交流機会の創出に寄与できたものと評価する。引き続き、利用促進に向け、効果的な周知活動を行う必要がある。 ・認定農業者等担い手の確保・育成について、新規就農者の支援として、農業資材費の一部助成及び青年就農給付金の交付を実施し、それぞれの支援制度において、利用の実績を上げることができたものと評価する。 ・ボランティア団体、NPO等の活動の活性化について、活動情報を広く発信・発表するイベントを開催し、市民活動への理解・関心を深めるとともに、団体間の交流を図れたものと評価する。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UJIターン企業説明会参加企業数及び地元企業セミナー参加者数について、実績がないことから、できる限り早期の事業実施に向け、関係団体等との連携を図りながら、効果的な制度設計を進める必要がある。

【総合戦略における事業の実施割合】
 実施事業数/計画事業数=11/11

具体的施策（２） 安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
市民センター子育て広場開設数（累計）	10か所	12か所	20か所
開放学級における待機児童がいない学校数（累計）	24校	13校	33校

2015（平成27）年度の実施事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所待機児童の解消 ・ 多様な子育て支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 交流の場の提供 ▶ 子育てニーズへのきめ細かな対応 ▶ ひとり親家庭等への支援の充実 ・ 放課後児童対策の推進 ・ 妊産婦支援の充実 ・ 出産・子育てしやすい医療環境づくりの推進 ・ 結婚支援の推進 ・ オープンデータ活用による女性の活躍の推進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所待機児童の解消について、民間保育園2園を開設し、保育の受け皿の拡大に寄与できたものと評価する。引き続き、平成29年度の解消を目指して取組を推進する必要がある。 ・ 子育てニーズへのきめ細かな対応について、多様化するライフスタイルへの対応に向け、休日保育及び病児保育を実施する保育園を拡大し、保育サービスの充実を図れたものと評価する。しかしながら、保育需要の高まりから、さらなる拡充が必要である。 ・ 出産・子育てしやすい医療環境づくりの推進について、不育児治療に対する助成に向け、制度設計に取り組み、事業化への進捗が図られたものと評価する。今後、財源を確保していくため、県等へ補助制度の創設を求めていく必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児と保護者が交流する場となる市民センター子育て広場について、開設箇所数の増を図ることができ、子育て世帯にとって身近な施設である市民センターにおいて、地域のボランティアによる子育て支援を推進できたものと評価する。今後利用者を更に増やすために、周知・運営内容等の充実を図る必要がある。 ・ 放課後における安全・安心な児童の居場所づくりとして、学童クラブの運営等を支援するとともに、開放学級施設の整備をおおむね計画的に進めることができたものと評価する。利用希望者は増加傾向にあり、全員を受け入れできる体制を確保するため、更なる取組の強化が必要である。

【総合戦略における事業の実施割合】

実施事業数/計画事業数=9/9

具体的施策（3） 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
放課後学力サポート事業導入校数（累計）	1校	7校	15校
学力診断のためのテスト（県）の総合得点の平均点(対県平均との比較)	[小6]+1.9点 [中3]+12.5点	[小6]-3.4点 [中3]+10.1点	[小6]+6点 [中3]+21点

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・水戸スタイルの教育の推進 ・まごころプランの推進 ・さきがけプランの推進 ・ふれあいプランの推進 ・体力向上プログラムの推進 ・郷土水戸に関する教育の充実 ・国際理解教育の推進 ・芸術教育の推進 ・情報教育の推進 ・自然体験学習の充実 ・児童生徒や保護者の悩み・不安解消のための相談の充実 ・一人一人の教育ニーズに応じた特別支援教育の充実 ・学校における食育の推進 ・学校における消費者教育の推進 ・大学等との連携による学校教育活動の推進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸スタイルの教育の推進について、本市の特色ある歴史や文化、自然、地域の人材を生かしながら、次世代をリードする子どもたちを育む年度カリキュラムに沿った事業の進捗が図れたものと評価する。 ・まごころプランの推進について、水戸の特色ある教育を体系化し、小中一貫教育を推進するため、各小中学校に対する助言指導や指定校の実践研究の進捗が図れたものと評価する。今後、9年間の系統性をより意識した効果的な指導が必要である。 ・ふれあいプランの推進について、児童生徒のいじめや悩みに対する早期対応に向け、水戸市いじめ防止基本方針による取組を推進し、いじめ解消率が向上するなど、成果を上げられたものと評価する。しかしながら、引き続き、複雑化かつ広範囲化するいじめ問題に取り組んでいく必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後学力サポート事業導入校数について、前年度導入校数から大きく増やすことができ、児童の学力向上に寄与できたものと評価する。引き続き、導入校の増に努める必要がある。 ・学力診断のためのテスト（県）の総合得点の平均点(対県平均との比較)について、児童生徒の学力向上に向けたさきがけプランにおいて、市内全小中学校へ学力向上サポーターを配置するほか、補充指導等を実施し、中学校3年生の平均点が県平均を上回るなど、成果を上げられたものと評価する。しかしながら、小学校6年生においては、県平均を下回っており、引き続き、事業の進捗を図りながら、学力の向上に努める必要がある。
<p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=15/15</p>	

具体的施策（４） ワーク・ライフ・バランスの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民・事業所への研修会等の実施回数（累計）	2回	13回	25回
仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナー参加者数[水戸市在住者]（年間）	35人	55人	120人

2015（平成27）年度の実施事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍推進に向けた環境づくり ・企業労務改善の支援 ・育児休業の取得の促進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <p>・女性の活躍推進に向けた環境づくりについて、女性起業家及び起業に関心のある人との交流機会の創出により、起業をより身近に感じる機会として、成果を上げられたものと評価する。また、事業所トップ等に対して、女性活躍に向けた取組についての働きかけができたものと評価する。</p> <p>また、女性のキャリアアップ及び就業支援講座を開催するなど、意欲ある女性の支援に寄与できたものと評価する。</p> <p>女性活躍推進に積極的に取り組む事業所を表彰し、広く周知することにより、女性活躍推進への理解を深めるとともに、機運の醸成に寄与できたものと評価する。</p> <p>今後、様々な分野における女性の活躍推進に向け、各種事業の充実を図る必要がある。</p> <p>・企業労務改善の支援について、長時間労働抑制など、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への具体的な支援に向けた検討を進めてきたところであるが、事業化には至らなかった。引き続き、県をはじめ関係機関と連携しながら、支援のあり方等の検討を進め、早期の事業化を図る必要がある。</p> <p>【KPIの評価】</p> <p>・ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民・事業所への研修会等の実施回数について、前年度を大きく上回っており、働き方に関する意識の醸成に寄与できたものと評価する。しかしながら、さらなる意識啓発を図るため、引き続き、事業を継続する必要がある。</p> <p>・仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナー参加者数について、前年度を上回っており、社会参加への意欲ある女性の支援に寄与できたものと評価する。女性活躍のさらなる推進に向け、引き続き、事業を継続する必要がある。</p>

【総合戦略における事業の実施割合】

実施事業数/計画事業数=3/3

〈基本目標Ⅳ 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る〉

数値目標	(基準値)		(目標値)
○生活環境の満足度	73.5%	→	78%

具体的施策（１） 都市機能の集積と交通ネットワークの形成

重要業績評価指標（KPI）

項 目	基準値 (2014 年度)	実績値 (2015 年度)	目標値 (2019 年度)
中心市街地の歩行者通行量	109,800 人	101,048 人	126,300 人
路線バス利用者数（1 日当たり）	29,656 人	29,830 人	32,600 人

2015（平成 27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなか交通体系の確立 <ul style="list-style-type: none"> ▶ まちなか公共交通の利用促進 ▶ 自転車利用環境の整備 ▶ 新たなバリアフリー基本構想の策定及び施策の推進 ・ 地域公共交通の再編 ・ まちなか住替えの支援（再掲） ・ まちなか共同住宅の整備の促進（再掲） ・ 都市機能の集約・再配置の推進 ・ 新たな市民会館の整備(再掲) ・ 歩いて楽しめる道路空間の整備 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちなか公共交通の利用促進について、まちなかを 100 円で利用できる各社共通の路線バスの回数券を発行したことにより、徒歩での移動からバス利用への転換が見られ、成果を上げることができたものと評価する。一方で、各交通事業者が IC カードの導入を進め、回数券の廃止を進めている事業者もあることから、今後の取組については、検討する必要がある。 ・ 自転車利用環境の整備について、市道千波 2 号線において、社会実験として、自転車通行空間を整備したことにより、当該市道を利用する歩行者の安全性の確保や自転車利用者の交通ルールに対する意識の醸成に成果があったものと評価する。本事業で得られた課題とその対応策について、今後の自転車利用環境整備に反映させる必要がある。 ・ 都市機能の集約・再配置の推進について、立地適正化計画の策定に向け、基本的な方針の検討に取り組んできたところであり、現状分析と課題等を整理しながら、引き続き、実効性ある計画の策定を進める必要がある。 ・ 歩いて楽しめる道路空間の整備について、南町地区において、道路改良等に向けた取組を進めたほか、都市計画道路 3・3・175 号梅戸橋桜川線において、道路改良及び地盤改良工事を実施し、拠点地区へのアクセス性向上に貢献できたものと評価する。さらなるアクセス性向上に向け、引き続き、事業を継続する必要がある。 <p>【KPI の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の歩行者通行量について、前年度を下回る結果となっており、まちなかにおける定住人口及び交流人口の増加を図るためにも、各種事業の横断的な取組とともに、各事業内容を充実してい

<p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=9/11</p>	<p>く必要がある。</p> <p>・路線バス利用者数について、前年度を上回っているものの、目標値の達成に向け、引き続き、公共交通の利用促進や利便性の向上に取り組む必要がある。</p>
--	--

具体的施策（２） 既存ストック（住宅等）の再生，利活用

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
住宅リフォーム助成件数（累計）	—	—	690件
JTI（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度の市内取扱店舗数（累計）	2件	2件	6件

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォームの促進（再掲） ・住生活支援情報の提供（再掲） ・市営住宅の建替え及び長寿命化型改修の推進 ・民間住宅活用型市営住宅の供給（再掲） ・水戸駅北口駅前広場の再整備 <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=5/5</p> </div>	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住生活支援情報の提供について、住生活関連の講演会やJTIマイホーム借上げ制度の周知等を実施したところであり、引き続き、制度の利用促進に向けた周知活動を推進していく必要がある。 ・民間住宅活用型市営住宅の供給について、制度設計を実施したが、引き続き、事業化に向けた費用対効果等の検討を行う必要がある。 ・市営住宅の建替え及び長寿命化型改修の推進について、年度計画のとおり建替え等を実施し、安全性や居住水準の改善及び超高齢社会に対応した住宅の整備が図られたものと評価する。引き続き、年次的な事業の推進を図る必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム助成件数については、事業化に向けた検討段階にあることから実績がない状況となっており、対象事業者等の課題を整理し、制度設計に向けた検討を進める必要がある。 ・JTI（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度の市内取扱店舗数について、前年度と同数となっていることから、制度の周知及び関係機関との連携を強化していく必要がある。

具体的施策（３） 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
水戸市安心・安全見守り隊 参加団体・事業者数（累計）	88 団体等	122 団体等	120 団体等
公的病院などの救急医療等に係る医師数	261 人	266 人	261 人（維持）

2015（平成27）年度の取組事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ活動の活性化 ・ ボランティア団体，NPO等の活動の活性化（再掲） ・ 災害時要配慮者支援の充実 ・ 地域包括システムの構築に向けた取組の推進 ・ 地域見守り・支えあいの推進 ・ 多世代交流の推進 ・ 緊急診療体制の充実 ・ 医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 産婦人科等の医師の確保 ▶ 看護師の確保 ▶ 介護従事者の確保 ▶ 保育士の確保 ・ 生涯学習のしやすい環境づくりの推進 ・ 消費生活の向上 ・ 道路・公園ボランティアサポートの推進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ活動の活性化について，推進体制を充実していくため，町内会への加入促進に向けた事業を年度計画に沿って実施したところであるが，町内会加入率の回復には至っておらず，引き続き，水戸市住みよいまちづくり推進協議会をはじめ，関係機関・団体と連携し，幅広い世代に町内会・自治会への加入促進とともに，地域コミュニティ活動への参加意識の醸成を図る必要がある。 また，多様化する地域課題に対応していくため，地域コミュニティを活性化していくための課題解決力を持った人材の育成に向け，地域リーダー研修会を開催し，リーダー意識の醸成に寄与できたものと評価する。 ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進について，地域における介護予防活動の充実をはじめ，担い手の養成に取り組むとともに，支援センターの機能強化を進め，成果を上げられたものと評価する。 ・ 緊急診療体制の充実について，いつでも安心して医療を受けられる環境づくりに向け，大学病院等からの派遣医師を確保するなど，休日夜間診療等における体制の充実が図れたものと評価する。引き続き，安定的な診療所運営に向けて，継続的な医師の確保が必要である。 ・ 産婦人科医等の確保について，地域周産期母子医療センターへの支援の実施により，安定的な周産期医療体制づくりに寄与できたものと評価する。安定的な医療提供体制の確保に向け，継続的な医師の支援が必要である。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水戸市安心・安全見守り隊参加団体・事業者数について，参加団体が目標値を上回る122に拡充され，地域の中で高齢者やその家族の安心な暮らしを守る体制の強化が図れたものと評価する。さらなる体制の強化，機能の充実に向け，継続的に取り組む必要がある。 ・ 公的病院などの救急医療等に係る医師数について，目標を上回る

<p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=14/15</p>	<p>266人となり、緊急医療提供体制が維持されたものと評価する。引き続き、安定的な医療提供に向け、医師数の維持・確保を図る必要がある。</p>
---	--

具体的施策（４） 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
自主防災組織による防災訓練等の参加者数	8,000人	12,721人	10,000人
浸水被害箇所数	201か所	186か所	108か所

2015（平成27）年度の実施事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民協働による地域防災の推進 ・ 災害時要配慮者支援の充実（再掲） ・ 次世代防災リーダーの育成 ・ 水戸市雨水排水施設整備プログラムの推進 ・ 民間住宅・建築物の耐震化等の促進 <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=5/5</p> </div>	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民協働による地域防災の推進について、防災訓練・講座及びシェイクアウト訓練を実施するほか、災害時生活用水協力井戸の登録を促進し、それぞれにおいて目標を上回る実績を上げていることから、市民の防災意識の醸成とともに、地域防災の推進に着実に繋がっているものと評価する。東日本大震災から年数が経過しており、防災意識が風化しないように継続的な取組が必要である。 ・ 次世代防災リーダーの育成について、学校等と連携した防災訓練や防災教育に加え、市内全小・中学校においてシェイクアウト訓練を実施することにより、児童・生徒の発達段階や地域の実情に応じた防災教育の推進を図れたものと評価する。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織による防災訓練等の参加者数について、目標を上回っており、事業実施の成果と評価する。市民の防災意識の維持とともに、さらなる参加促進に向け、継続的に取り組む必要がある。 ・ 浸水被害箇所数について、水戸市雨水排水施設整備プログラムに沿って、対策箇所の整備を実施したことにより、浸水被害の軽減・解消に寄与できたものと評価する。引き続き、早期軽減・浸水被害の解消に向け、計画的な対応箇所の整備を行う必要がある。

具体的施策（５） 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	実績値 (2015年度)	目標値 (2019年度)
茨城県中央地域定住自立圏における連携事項数	—	—	10項目
北関東中核都市連携会議における連携事業数	—	2事業	5事業

2015（平成27）年度の実施事業	評価等概要
<ul style="list-style-type: none"> 茨城県中央地域定住自立圏の取組の推進 北関東中核都市連携会議における連携事業の推進 中核市移行に向けた取組の推進 	<p>【主な事業の概要及び評価・今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 茨城県中央地域定住自立圏の取組の推進について、協定の締結に向け、連携分野毎の協議・調整を進めてきたところであり、引き続き、平成28年度中の協定締結、定住自立圏共生ビジョンの策定に向けた取組を進めていく必要がある。 北関東中核都市連携会議（構成：水戸市・前橋市・宇都宮市・高崎市）における連携事業の推進について、北関東400kmブルベや物産フェア等を開催し、北関東圏域全体の魅力発信に寄与できたものと評価する。 中核市移行に向けた取組の推進について、移譲事務の整理や人事交流の実施等に向けた県との協議を順調に進めることができたものと評価する。引き続き、移譲事務に係る財政的影響や保健所施設の整備の方向性などについて、整理する必要がある。 <p>【KPIの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 茨城県中央地域定住自立圏における連携事項数については、協定の締結において決定するため、平成27年度中における実績はないが、早期の連携事業の実施に向け、さらなる協議を進めて行く必要がある。 北関東中核都市連携会議における連携事業数について、災害協定の締結や北関東400kmブルベの開催など、着実に実績を上げていくものと評価する。さらなる魅力発信に向け、各市との交流を深めながら、新たな事業を検討する必要がある。

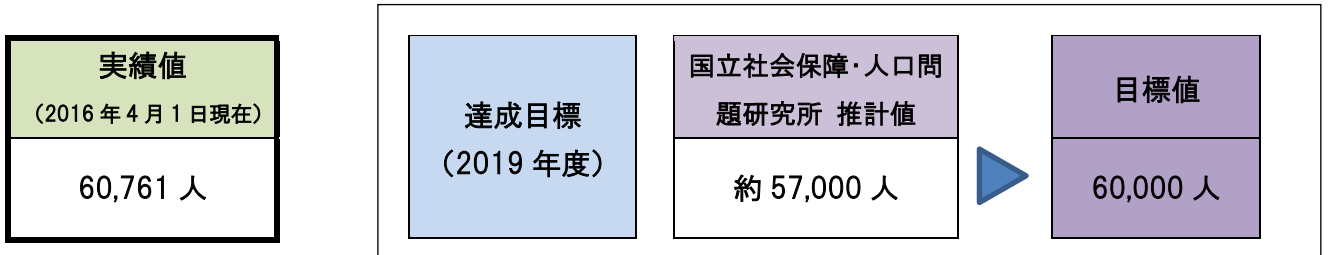
【総合戦略における事業の実施割合】
 実施事業数/計画事業数=3/3

5 水戸のまち創生リーディングプログラム

【取組への評価】

戦略において目指す姿の実現に向け、若い世代が多様に働き、活動する場の創出に優先的かつ重点的に取り組む本プログラムについて、若い世代の人口が目標値を上回る数を維持していることから、成果があったものと評価する。引き続き、取組を継続する必要がある。

◎20～39歳の人口（生産年齢人口の概ね前半世代）



〈2015（平成27）年度における主な取組〉

1 多様な雇用創出と就業支援

戦略的な取組	主な内容, 実績等
産業交流機会の創出	・ ビジネスマッチング会の開催に向けた検討
技術力, 競争力強化・支援	・ 工業振興支援事業(H27: 交付件数2件)
商店街活性化の推進	・ 商店街活力アップ事業補助金(交付団体8団体) ・ 商店街活力向上事業補助金(交付団体2団体)
企業誘致の促進	・ 企業誘致活動の推進(誘致件数3件)
国際観光の推進	・ 国際観光の推進 (市内外国人宿泊者数 H27: 21,298人)
観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成	・ 優良観光土産品登録制度の活用 (新規登録7社9品, 再登録15社36品)
コンベンション誘致活動の推進・強化	・ コンベンション誘致推進事業の充実
6次産業化の推進	・ 産地改革チャレンジ事業
農産物のブランド化の推進	・ 水戸の梅産地づくり事業(梅果樹棚等整備0.23ha)
地産地消の推進	・ 地場農産物利用促進事業(「水戸美味」登録店43件)
認定農業者等担い手の確保・育成	・ 青年就農給付金支援事業(交付件数 新規就農者8名) ・ 就農スタートアップ支援制度 (交付件数 新規就農者1名)
女性の活躍推進に向けた環境づくり	・ 女性活躍推進事業
医療・福祉分野における人材の確保, 雇用の促進	・ 介護職員処遇改善加算の給付 ・ 周産期及び婦人科医療従事医師雇用補助 ・ 休日夜間緊急診療所小児科医師確保 ・ 看護師の養成, 確保 ・ 保育サービスの充実

2 自主的な起業への支援

戦略的な取組	主な内容, 実績等
創業支援の充実（創業支援事業計画に基づくサポート体制の強化, 創業支援セミナーの開催等）	・ 創業支援事業（創業事業者数 59 人）
ベンチャービジネスの育成・支援（コワーキングスペースの運営等）	・ コワーキングスペース設置事業 （設置・運用開始 平成 28 年 3 月）
店舗開業・出店の推進（空き店舗対策助成制度による誘致施策）	・ 空き店舗対策事業（交付件数 6 件）
産学官連携による産業の活性化（新製品・新技術開発の支援）	・ 新ビジネス創造推進事(シンポジウム 1 回開催)
遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進（水戸まちなかりノベーション事業）	・ 水戸まちなかりノベーション事業 （リノベーションまちづくり塾（講演会） 3 回開催, 来場者 670 人）

3 創造的な活動への支援

戦略的な取組	主な内容
ボランティア団体, NPO 等の活動の活性化	・ 協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」事業 ・ こみっとフェスティバル事業（来場者数 3,203 人）
まちなかイベントの開催	・ 水戸まちなかフェスティバル事業 （来場者数 82,000 人, イベント数：70 件）
市民主体の芸術文化活動の促進	・ 水戸市芸術祭 （9 部門 22 事業実施, 参加者数：39,212 人）